

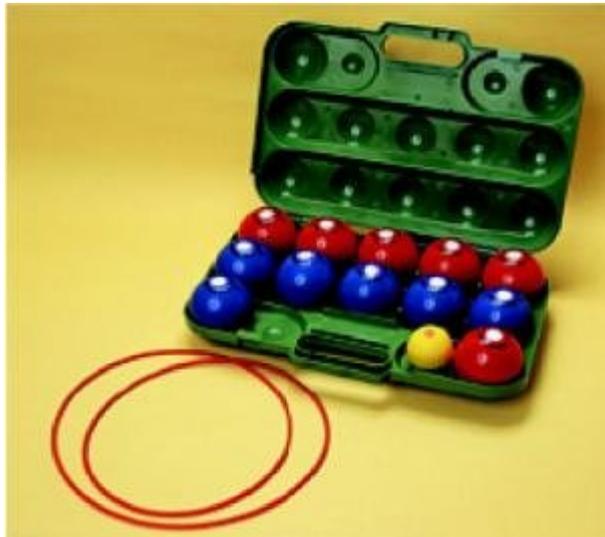
# やってみよう！室内ペタンク

ペタンクは、南仏プロヴァンス生まれのおしゃれな球技。金属製のボールをビュット（目標球）に近づけるのが基本です。

室内ペタンクは、室内でもできるようにゴム製のボールになっています。

一見単純そうな室内ペタンクでも、実はテクニックがいっぱい！相手のボールをティールする（はじく）のもテクニック。

ペタンクの始まりはフランスのプロヴァンサルという球技の元チャンピオンが車椅子生活となり、ルールを変更したことから始まりました。だから車椅子など、お体に障害をお持ちの方でもできるので、同じルールで対戦します。



## 【ゲームの進め方】

(1)ジャンケン、トスなどで勝ったAチームの1人がスタート地点となるところに直径35cm～50cmのサークルを描き、その中に立って、標的となるビュットという小さな球を6m～10mの距離に投げる。

(2)ビュットが6m以下または10mの距離に止まった後引き続きAチームの中の1人が第1球目のボールをできるだけビュットの近くに止まるように投げる。

(3)次にBチームの1人が、Aチームのボールよりビュットに近づくように第1球目を投げる。両チームが1球ずつ投げ終えた後、どちらのボールがビュットにより近いかを測る。ビュットに近いほうを優勢チームとし、逆に遠いほうを劣勢チームとする。劣勢チームの者が、優勢チームのボールよりもビュットに近づくようにボールを投げ、1球で近づかなければ、近づくまで次々とボールを投げ続ける。

(4)ボールをそれぞれのチームが全部(6枚)投げ終わり、1メーヌ(1セット)が終了

(5)味方チームのボールをビュットに1番近く配置させたチームが勝ち。

得点は、負けたチームのボールの中でビュットに1番近いボールよりさらにビュットに近いところにある、勝ちチームのボールの数で決める。

レッツ・プレイ・室内ペタンク！